

令和 8 年度 ジュニア・ジュエリーマスター学科試験問題

つぎの各設問にある文を読み、文中の()内に当てはまる正しい語句を(ア)～(ウ)より一つ選び、解答欄に記号を記入しなさい。

問1 宝飾史

- (1) ()では庶民の間でも櫛、かんざし、こうがいなどの頭飾用具が女性の髪を飾った。
- (ア) 縄文時代 (イ) 弥生時代 (ウ) 江戸時代
- (2) 奈良時代では貴族、官吏の間で()の腰飾り、髪飾りが身につけられた。
- (ア) 唐風 (イ) 韓風 (ウ) 西洋風
- (3) 古墳時代には()から変化した碧玉製の石釧、車輪石が作られた。
- (ア) 首輪 (イ) 指輪 (ウ) 貝輪
- (4) 飛鳥時代～()時代の100年余りの間は装身具を使用する習慣が突如消える。
- (ア) 室町 (イ) 奈良 (ウ) 鎌倉
- (5) 1985年～1990年のバブル経済下、()の大ぶりのデザインが溢れ、喜平チェーンやブレスレット、コインが流行した。
- (ア) シルバー (イ) ゴールド (ウ) プラチナ
- (6) 1989年11月1日には日本ジュエリー協会により()のキャンペーンが始まる。
- (ア) アクセサリー・デー (イ) ジュエリー・デー (ウ) パール・デー
- (7) 1966年、()の啓蒙活動を行うデ・ビアス社が日本に上陸した。
- (ア) プラチナ (イ) ダイヤモンド (ウ) 金
- (8) 山梨県では明治時代になると()の採掘が自由化された。
- (ア) メノウ (イ) 砂金 (ウ) 水晶
- (9) 大正時代、甲府の水晶工芸の業界では山梨県産水晶の枯渇に対処するために()産水晶の原石輸入が行われた。
- (ア) 中国 (イ) ブラジル (ウ) ロシア
- (10) 金櫻神社の社宝「火の玉、()の玉」は江戸時代に京都の玉造りが加工した。
- (ア) 山 (イ) 林 (ウ) 水

問2 マネジメント

- (1) 生産の4Mとは()、資材、設備、方法のことである。
- (ア) 需要 (イ) 管理 (ウ) 人
- (2) 作業管理の5Sとは「()」、「整頓」、「清掃」、「清潔」、「躰け」のことである。
- (ア) 相談 (イ) 整理 (ウ) 設備
- (3) QCDとは、Q=「品質」、C=「()」、D=「納期」のことである。
- (ア) 販売 (イ) 原価 (ウ) 市場

問3 ビジネス

- (1) 産業財産権の上位概念に当たる権利の総称を()と呼ぶ。
(ア) 著作権 (イ) 特許権 (ウ) 知的財産権
- (2) 一定の商品群に対し、商品の品質を特定する()を「ブランド」と呼ぶ。
(ア) 銘柄 (イ) 商品名 (ウ) 値札
- (3) 「()」とは、メディアを利用して表現されたアイデアを独占・保護する権利である。創作性の強い芸術作品はこの対象である。
(ア) 実用新案権 (イ) 著作権 (ウ) 意匠権
- (4) 製造物責任法は別名、略称である()法と呼ばれる。
(ア) CITES (イ) PL (ウ) ISO
- (5) 天然クォーツのモース硬度は()である。
(ア) 7 (イ) 6 (ウ) 8
- (6) ブラック・スター・エンスタタイトは強い光を当てるとアステリズムを生じる。理想的なカットの場合、交差した光の筋を中心より数えると()条のスターになる。
(ア) 6 (イ) 4 (ウ) 8
- (7) 分散度が高い透明な宝石程、強い光を当てた場合に、屈折による内部反射により虹が生じる。この現象を()と呼ぶ。
(ア) イリデッセンス (イ) ファイアー (ウ) シンチレーション
- (8) ()は多孔質であり、銅イオンにより空青色～青緑色に発色するのが特徴の石である。
(ア) トルコ石 (イ) アマゾナイト (ウ) ひすい
- (9) エメラルド、アクアマリン、モルガナイトは()グループの変種名である。
(ア) ベリル (イ) クォーツ (ウ) ガーネット
- (10) ダイヤモンドの評価4Cの中でカラーグレードの最も高いのは()グレードである。
(ア) A (イ) K (ウ) D
- (11) モース硬度が8で完全な劈開があり、一般的に黄色の宝石は()である。
(ア) アレキサンドライト (イ) トパーズ (ウ) ペリドット
- (12) 4大宝石のうち、超音波洗浄器を使用する際に特に注意が必要な宝石は()である。
(ア) サファイヤ (イ) ダイヤモンド (ウ) エメラルド
- (13) 宝石には紫外線などの波長の短い光を照射すると、発熱を伴わずにより波長の長い光を発光する性質を持つものがある。この性質を()と呼び、宝石の判別方法の一つである。
(ア) 偏光 (イ) 蛍光 (ウ) リン光
- (14) 宝石中にある複数の小板状包有物に光が反射し、小さな反射光がきらめく効果を()と呼ぶ。
(ア) イリデッセンス (イ) アステリズム (ウ) アヴェンチュリン効果

(15) 金属製品にめっきや張りを施した製品に刻印する場合、金張りは()と表記される。

(ア) GF

(イ) GC

(ウ) K18

(16) 300gのpt900には、()gのプラチナが含まれている。

(ア) 250

(イ) 225

(ウ) 270

(17) ルテニウム、ロジウム、パラジウム、リチウム、イリジウム、プラチナの6金属は総称として()と呼ばれる。

(ア) 非鉄金属

(イ) 非金属

(ウ) 白金族

(18) 銀925‰に銅75‰を加えた合金は()・シルバーと呼ばれる。

(ア) スターリング

(イ) ブリタニア

(ウ) コイン

(19) 使用素材に制限のあるものをファイン・ジュエリー、ないものを()・ジュエリーと呼ぶ。

(ア) プライダル

(イ) コスチューム

(ウ) メンズ

問4 デザイン

(1) 色には「色相」、「()」、「彩度」、という3つの要素がある。

(ア) 透明度

(イ) 寒色

(ウ) 明度

(2) 企画書の組み立て方には、まず結論を先に述べ、その結論に至るプロセスを展開していく()法がある。

(ア) 倒置

(イ) 演繹

(ウ) 遠近

(3) リングの二面図の描き方は、真上、()からの二図である。

(ア) 真横

(イ) 真下

(ウ) 真正面

(4) 3点透視図法では消失点は()個である。

(ア) 3

(イ) 2

(ウ) 1

(5) 企画書の組み立て方には、背景や現状をデータや資料などで説明した後に結論にたどり着く()法がある。

(ア) 遠近

(イ) 倒置

(ウ) 帰納

問5 プロダクト

- (1) ファセッターはドップに接着した宝石素材を一定の()で研磨板に押し当てる為の機械である。
- (ア) 角度 (イ) 硬度 (ウ) 圧力
- (2) 宝石の艶出し加工に用いる緑色の研磨材(剤)は()である。
- (ア) 酸化クロム (イ) ガーネット (ウ) 緑色炭化珪素
- (3) 宝石素材を切断するための機械は()である。
- (ア) 小割り切断機 (イ) ハンドモーター (ウ) 平面研磨機
- (4) 宝石加工において切削加工の作業中は()やマスクを使用し、眼球の保護と粉塵吸入の防止に注意すること。
- (ア) 遮光グラス (イ) 拡大ルーペ (ウ) 防護メガネ
- (5) ()は、金属材料にカニコンパス等を用いて印を付ける作業である。
- (ア) みがき (イ) けがき (ウ) はぜおり
- (6) 貴金属加工に使用する糸ノコの番数で、最も幅が狭く刃が細かいものは()番である。
- (ア) 0 (イ) 6/0 (ウ) 8/0
- (7) 5分ロウの融点は約()℃である。
- (ア) 625 (イ) 740 (ウ) 700
- (8) ()とは、直接地金を融かすことによる接合の方法である。最近では高温バーナーよりもレーザー溶接機が普及している。
- (ア) 共付け (イ) ロウ付け (ウ) ハンダ付け
- (9) 硼砂の成分は()であり、878℃で金属表面にガラス状の被膜を作る。
- (ア) ホウ酸マグネシウム (イ) ホウ酸ナトリウム (ウ) 炭酸水素ナトリウム
- (10) ジュエリーの製造に用いる鑄造機には主に遠心鑄造機と()式鑄造機と吸引加圧式がある。
- (ア) 真空加圧 (イ) 超音波 (ウ) スパッタ
- (11) 金属を金槌で叩いたり、ローラーで圧延すると硬くなる。この現象を()と呼ぶ。
- (ア) 時効硬化 (イ) 加工軟化 (ウ) 加工硬化
- (12) 可燃性ガスと酸素を併用して行う金属の溶接、溶断、加熱の作業に就く場合は、登録教習機関が実施する「ガス()技能講習」を修了した者でなければならない。
- (ア) 溶断 (イ) 検針 (ウ) 溶接
- (13) 薬品類の保管は少量であっても地震などによる転倒防止の措置をとり、直射日光を避け、()に保管する。
- (ア) 風通しの良い場所 (イ) 鍵付きの戸棚 (ウ) 冷凍庫

令和 8 年度 ジュニア・ジュエリーマスター学科試験解答用紙

問 1

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)
ウ	ア	ウ	イ	イ	イ	イ	ウ	イ	ウ

問 2

(1)	(2)	(3)
ウ	イ	イ

配点は各 2 点
全 5 0 問
100 点満点

問 3

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)
ウ	ア	イ	イ	ア	イ	イ	ア	ア	ウ
(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)	(19)	
イ	ウ	イ	ウ	ア	ウ	ウ	ア	イ	

問 4

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
ウ	イ	ウ	ア	ウ

問 5

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)
ア	ア	ア	ウ	イ	ウ	イ	ア	イ	ア
(11)	(12)	(13)							
ウ	ウ	イ							

得点

受験番号